

平成26年度 協議会総会開催

2014.7.17



富田会長



県商工労働部
齋田部長



J-PARCセンター
坂元アドバイザー



S.P.I. コーポレーション
社長



藤沼副会長



名古屋大学大学院
鬼柳特任教授

7月17日(水)13時30分から、いばらき量子ビーム研究センター(IQBRC)内の大会議室にて、平成26年度県内中性子利用連絡協議会総会が開催されました。

当日は会員の他、関係者や主催者を含めて約80名が出席し熱気あふれる総会となりました。

総会の冒頭、富田会長(日本アドバンステクノロジー(株)代表取締役社長)から、これまでの協議会へのご支援とご協力とに対する謝辞と今後の活動に向けた期待の挨拶がありました。続いて、茨城県商工労働部・齋田部長から県施策紹介と協議会に寄せる挨拶を戴きました。

その後議事に入り、協議会事務局伊藤から過去1年間の活動総括をご報告した後、本年度の活動目標と日程計画等をご説明しご協力を要請しました。続いてJ-PARCセンター広報アドバイザー・坂元眞一氏からJ-PARCの現状と最新情報、今後の展望などが紹介されました。

また、企業におけるJ-PARCとの関わりについては、S.P.エンジニアリング(株)代表取締役社長・泉富栄氏から、「知恵を生かしたJ-PARC等・技術開発への取り組み」のテーマで講演戴きました。その中では、同社の意欲的な新技術への挑戦と知的資産経営に関して、その価値創造ストーリーと諸成果を紹介戴き、参加者が新たな切り口での触発を感じました。

小休止の後、名古屋大学大学院工学研究科産学連携特任教授・鬼柳善明氏から「中性子で見る・治すー産業利用から医療応用までー」と題し特別講演を戴きました。

講演は、中性子の産業利用の視点から、電子機器の誤動作試験の例とイメージングの現状と今後に関する解説の他、がん細胞が取り込んだボロン化合物に中性子を照射し、核反応による粒子で治療するボロン中性子捕捉療法の基本と具体的な適用事例に関するもので、身近かつ現実的な最先端技術として参加者の関心を集めました。

最後に、藤沼副会長(株)化研代表取締役社長)から閉会挨拶があり、本年度の新たなスタートと相互研鑽の推進を誓い、定刻の16時盛会裡に散会しました。

イベントのお知らせ

- **KEK(高エネルギー加速器研究機構)施設一般開放**
◆日時：9/13(土)
(詳細は、後日、KEKのHPにて広報されます)
- **JAEA/原子力科学研究所(東海村)・展示会**
◆日時：10/8(水) (詳細は後報致します)
- **産業技術総合研究所(つくば市)・展示会**
◆日時：10/29(水) (詳細は後報致します)
- **放射線医学総合研究所(千葉市)・見学会**
◆日時：11/26(水) (詳細は後報致します)

◆平成26年度・協議会事務局の体制について◆

本協議会事務局は、本年度も(株)ひたちなかテクノセンター企業支援部次長/浅野俊之、コーディネータ/伊藤裕、委嘱/満仲俊夫、県商工労働部産業政策課係長/浅野健治が、引き続き担当致します。尚、4/1付にて産業政策課・鈴木麻美は異動し、後任として同主事/秋谷朋広が着任致しました。

***** J-PARC NEWS 発行 *****

J-PARC NEWS 第110号が発行されました。
<http://j-parc.jp/ja/news/news-j.html>